

ひよし
日吉ダム 台風21号に伴う洪水に対し防災操作を実施
～桂川の河川水位を低減～

淀川水系桂川の水資源機構日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、台風21号の影響により、10月21日6時から23日14時までの総雨量が229mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒618立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダム管理所と国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所は協同し、特別防災操作※¹を実施し、最大流入時に約94%（毎秒約578立方メートル）の水をダムに貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

※1. 特別防災操作：下流河道の整備状況を勘案し、防災操作※²実施後の貯水容量に余裕があると判断した場合には、ダムの洪水調節容量をより効果的に・効率的に活用し、貯留量を増やして放流量を低減させることで下流の被害を軽減する操作。

※2. 防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

・今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

平成29年10月25日

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

発表記者クラブ

京都府政記者室
南丹市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所 所長代理 佐々木 ささき
住所：京都府南丹市日吉町中神子ヶ谷68
電話：0771（72）-0171（代表）

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 防災情報課 課長 中村 なかむら
住所：大阪府枚方市山田池北町10番1号
電話：072（856）-3131（代表）

ひよし 日吉ダム 台風21号に伴う洪水に対し防災操作を実施 ～桂川の河川水位を低減～

台風21号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、10月22日20時から21時までの1時間の雨量が15.6mmを記録し、降り始めの10月21日6時から23日14時までの総雨量が229mm（ダム流域平均雨量）に達しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、22日16時10分には洪水量（毎秒150立方メートル）に達しました。

ダム下流の河川水位の上昇を低減させるため、降雨及びダム流入量の状況から、ダム流下量を減量してもダムに貯留可能であることを確認し、日吉ダム管理所と国土交通省淀川ダム統合管理事務所は協同し、特別防災操作を行いました。

特別防災操作は、22日22時40分に、ダム流下量を通常の防災操作である毎秒150立方メートルから、毎秒60立方メートルとし、さらに23日1時30分には毎秒15立方メートルまで減量し、通常の防災操作以上に貯留する操作を行いました。

23日1時22分には、流入量が最大（毎秒618立方メートル）となり、同時刻におけるダム流下量は毎秒約40立方メートルであり、流入量の約94%（毎秒約578立方メートル）をダムに貯留しました。

防災操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム流下量	同時刻における ダム貯留量
日吉 ダム	229mm	平成29年10月23日 1時22分	毎秒618m ³	毎秒40m ³	毎秒578m ³

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、ダム下流の保津橋地点（かめおかしほつちよしまなかしま 亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を、最大約0.4メートル低減したものと推定され、はん濫危険水位（4.00m）の超過時間を約5時間短縮したものと想定されます。

保津橋地点の水位低減効果

保津橋地点の河川水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成29年10月23日 0時30分	4.59m	4.97m	0.38m

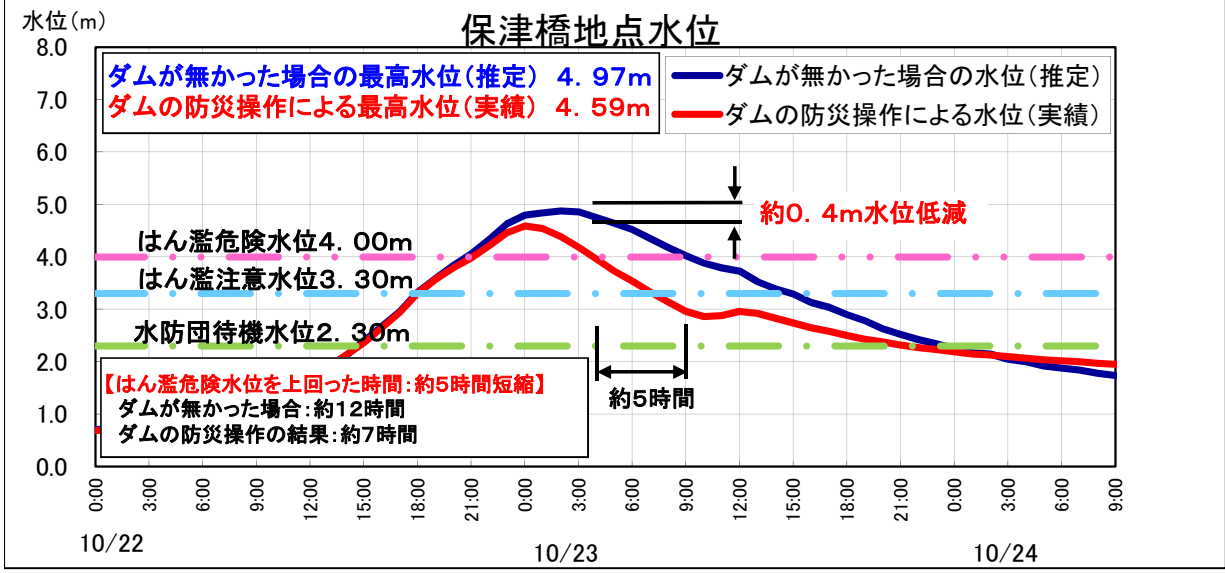
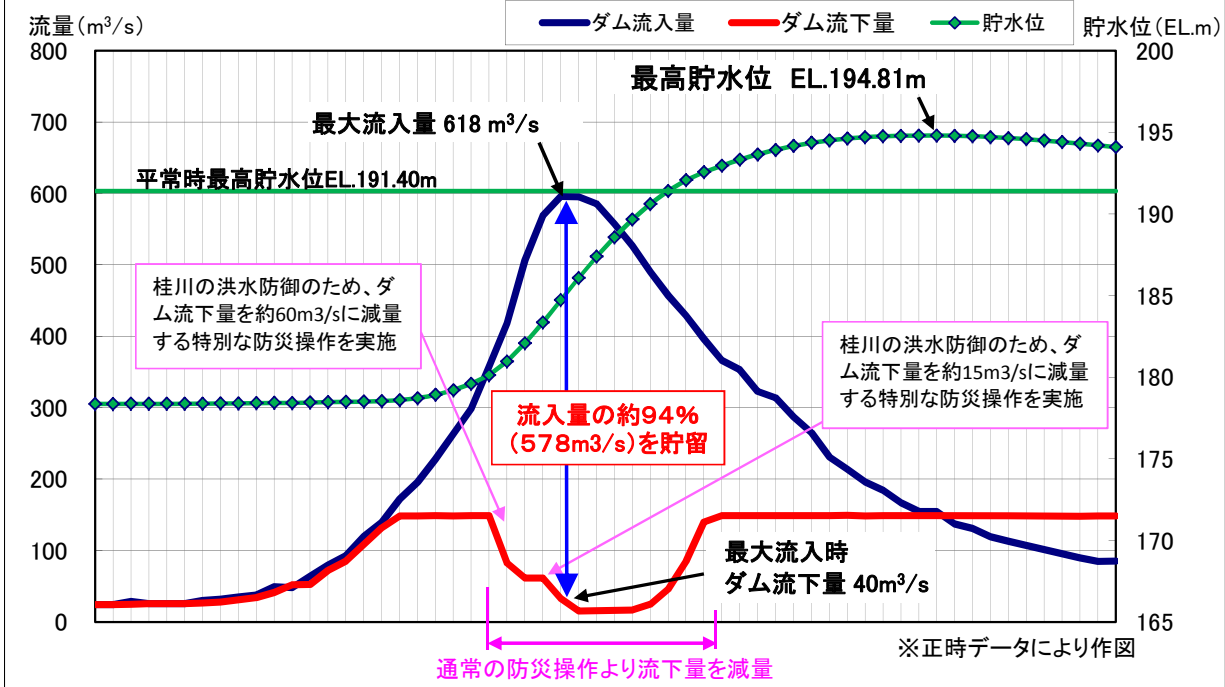
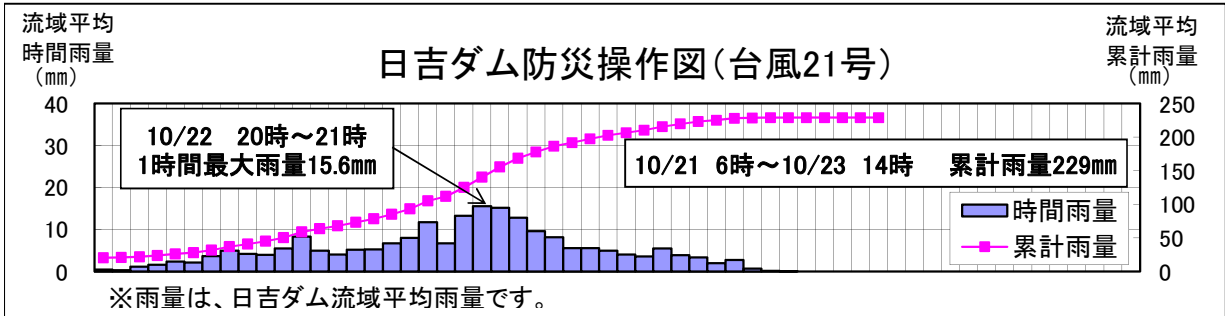
河川水位は、高い状態が続いています。十分ご注意ください。

日吉ダムでは、今後もダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

位置図



・日吉ダム最大流入時に約94%を貯留、ダム下流の河川水位を低減



管理開始(平成10年4月)以降の最大流入量大きい主な出水と今回の記録

順位	出水名	総雨量 [mm]	最大流入量 [m³/s]	最大流入時のダム流出量 [m³/s]	最大流入時の貯留量 [m³/s]
1	平成25年 9月 台風18号	345	1,694	148	1,546
2	平成26年 8月 前線	214	1,291	42	1,249
3	平成26年 8月 台風11号	298	913	14	899
7	平成29年10月 台風21号	229	618	40	578

※ 管理開始(平成10年4月)以降の出水で、最大流入量大きい方から3番目までと今回を記載しています。

※ 数値等は速報値であり、今後の精査により変わることがあります。

日吉ダム 台風21号に伴う洪水に対し防災操作を実施 ～桂川の河川水位を低減～

■台風21号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム流域では、1時間雨量で最大15.6mm、降り始めからの総雨量は229mmを観測しました。この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒618立方メートルを記録しました。

■日吉ダムは、最大流入時に約94%（毎秒578立方メートル）の水をダム貯水池に貯留しました。今回の防災操作により、京セラドーム大阪※約22杯分（2671万立方メートル）に相当する水をダムに貯め込むことにより、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を最大約0.4メートル低減し、はん濫危険水位（4.00m）の超過時間を約5時間短縮したものと想定されます。（※京セラドーム大阪の容量を120万立方メートルとして算出）

最大流入時に約94%の水をダムに貯留し、京セラドーム大阪約22杯分に相当する水をダムに貯め込み、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

ダム堤体上流面

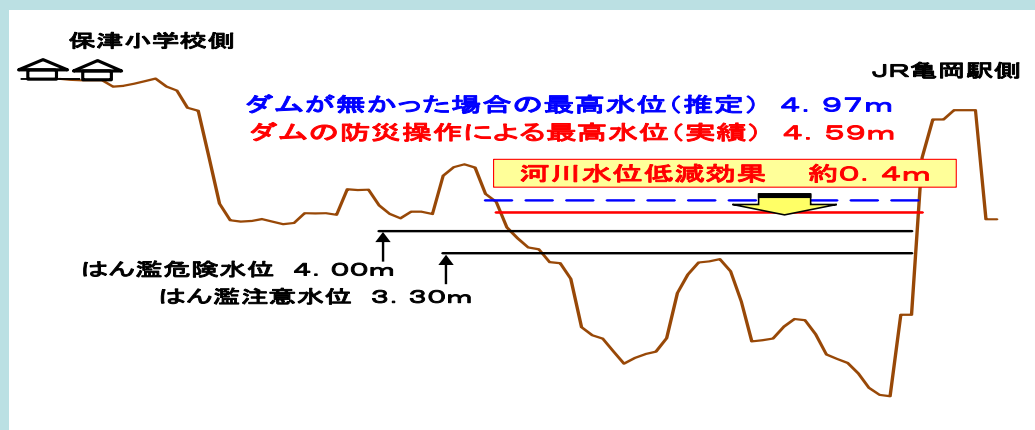


EL178.55m(平成29年10月22日16時頃)



EL194.81m(平成29年10月23日23時頃)

保津橋地点(保津川下り乗船場付近)での水位低減効果



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。